

# 人かたまって人になる

【巻<sup>まきだこ</sup>風】と言われる縦2.8m×横2.2mの畳五畳の大きさの風を昨年末に手に入れました。

この風は乙<sup>きのと</sup>の県少年自然の家の体育館に掲げてあったもので、体育館工事の関係で保存する場所がなくなり、金屋小で引き取りました。(右の写真が飾られていた当時のものです)

実はこの風、とても由緒ある風なのです。白根大風合戦の巻風組である「わらじ会」さんが掲げていた風で、過去には巻風の部で優勝をしたこともあります。

絵柄は江戸時代後期に活躍した歌川国芳の浮世絵「人かたまって人になる」がモチーフになっていて、とても印象的です。たくさんの方が集まって一人の顔を作っています。そして、紅と青の色も鮮やかで、人の目を引きつけます。(残念ながら白黒ではわかりにくいのですが・・・)

「わらじ会」さんは、昭和42年から白根大風合戦に参戦しました。当時、白根小学校で教師をしていた人の教え子たちが、「和を大切に、謙虚な心で精進する」という思いを大切にしていたそうです。しかし、揚げ手の高齢化や発足当時の目標達成などの理由で、平成19年を最後に白根大風合戦への参戦に幕を下ろしました。こんな素敵な風を埋もれさせておくのはもったいないと思い、金屋小で引き取ったのです。

昨年12月の全校朝会で、この巻風を補修して組み立て、「伝統とは」というテーマで子どもたちに紹介しました。実物の風の大きさと絵柄の鮮やかさにびっくりしていました。そして、空に掲がったらどんななんだろうという思いをもった子もいました。風は掲げてみて初めて、その勇壮さや迫力が分かります。私も白根の学校に務めたことが有り、当時大風合戦の時には毎年風を掲げていました。しかし、骨の強度や鼻緒の長さの調整など、素人が単独で掲げるのは難しいです。

そこで、白根在住で「わらじ会」に当時所属していた本田清作さんに、「わらじ会」の風を10年ぶりに復活させ、揚げたいのだからと相談したところ。快く引き受けてくださり、来校してもらうことになりました。そして、現在は掲げるために骨の付け替えなどをしていただいています。

**5月19日(土)の運動会終了後、後始末が完了した後(万国旗を回収後)3時半頃から5・6年生の子どもたちと掲げることになりました。興味のある方はぜひお残りください。**

風揚げは一致団結してやらないとうまく揚がりません。「人かたまって人になる」、みんなが固まって協力し、金屋の空に由緒ある素敵な風を揚げましょう。(文責:校長)



# 輝く子どもたち <児童朝会での発表：いい学校・いい学級をつくります>

## 運営委員長 細川 さん

毎日が笑顔あふれる金屋小学校になるように、全校のみんなをしっかりと引っばっていきたいです。

## 体育・環境ボランティア委員長 小林 さん

ベルマーク集計やボールの空気入れをがんばりたいです。ぼ金集めの当番もがんばりたいです。

## 飼育・栽培委員長 須貝 さん

クレバー（モルモット）は、毎日お世話をしたいと思えます。魚のえさやりもがんばりたいです。

## 保健委員長 時田 さん

全校のみんなが健康で清潔に過ごせるように、シャボンネットやトイレトペーパーのほじゅうをがんばりたいです。

## 図書委員長 高木 さん

本の整理などを心がけて、みんなが使いやすいようにし、去年より本を好きになってもらえるようにがんばりたいです。

## 広報委員長 小田 さん

毎日、みんなが聞きやすく楽しめるような放送ができるようにしたいです。時間にも遅れずにできるようにしたいです。



## 3年生学級代表 安城 さん

きょう力するクラスをめざします。こまった時は、みんなで力を合わせてきょう力していきたいです。

## 3年生学級代表 小林 さん

何でもやりぬき、元気いっぱいクラスにしたいです。みんなできょう力して、どんな時でも明るいクラスをめざします。

## 4年生学級代表 大島 さん

楽しくてけんかのない、いろいろなことにチャレンジしていける4年生にしていきたいです。

## 4年生学級代表 遠山 さん

楽しくてけんかのない4年生にしたいです。1・2・3年生にお手本を見せられるようにがんばりたいです。

## 5年生学級代表 小川 さん

なかよく、けんかのない明るいクラスにしたいです。そのために、学級代表の仕事をがんばります。

## 5年生学級代表 鈴木 さん

5年生を、メリハリのあるクラスにしたいです。そのために、みんなではげまし合うふんいきのあるクラスにしたいです。



## 6年生学級代表 大堀 さん

全校のお手本になれるよう、クラスをまとめられるようにがんばりたいです。

## 6年生学級代表 志村 さん

6年生を、明るく元気なクラスにできるように、クラスをもりあげていきたいです。

## 自分の命を守るために

4月24日（火）、坂町交番の小堺所長様、スクールガードリーダーの東海林弘夫様、学校支援ボランティアの遠山正宣様を講師に不審者対応の防犯教室を行いました。

1年生は2時間目に教室で不審者対応の合い言葉「いかのおすし」を習った後、1階ホールで不審者に遭った時の対応の実習を行いました。

2～6年生は、3時間目に体育館で話を聞いた後、3年と5年生が「捕まったとき、どのように逃げるか」を実習しました。

新潟市での痛ましい事件に強い憤りを感じます。他人事ではなく、自分事として「自分の命は自分で守る」ことの大切さを改めて学校でも指導しました。ご家庭でも「**いかのおすし**」の内容をお子さんと一緒に確認してみてください。



「お菓子を上げるよ。」と声をかけられたらどうしたらよいかを一人一人が練習しました。

### いかのおすし

知らない人について**い**かない 危ないところ**い**かない  
知らない人の誘い**に**のらない 知らない人の車**に**のらない  
**お**おきな声でさけぶ  
人のいるところ**に**すぐ逃げる 近くの家**に**すぐ逃げる  
周りの人**に**しらせる



## 自転車教室を行いました

4月20日（金）、交通安全指導員の方やボランティアの方に来ていただき、3・4年生が自転車教室を行いました。

グラウンド特設コースを使って、交差点や横断歩道等での乗り方を学びました。

3年生は初めての自転車教室。最初は乗り方も不安定でしたが、適宜交通ルールを教えていただくことで徐々に乗り方が上手になっていきました。4年生は2回目。昨年と比べると、乗り方や交通ルールの確認も上手にで

きました。これからも教えていただいたことを忘れずに安全運転を心がけてもらいたいです。

## チューリップ花摘み体験

4月23日（月）、3年生が胎内市桃崎浜地内に毎年恒例のチューリップ花摘み体験に行きました。子どもたちは辺り一面、色とりどりのチューリップに歓声を上げていました。

農家の方から花摘みの方法を教えていただき、早速花摘み。春の穏やかな天気の中、楽しい体験ができました。



# 今年度、授業で目指す子どもの姿について

昨年度、毎月、子どもたちに授業についてのアンケートを取っていました。

	【4 そう思う    3 まあ、そう思う    2 あまりそう思わない    1 そう思わない】	
2	授業中、自分の考えを発表することができたと思う。	4「そう思う」の割合 65%

そのアンケートでは、他の項目は80%以上なのですが、質問2「自分の考えを発表することができたと思う。」の割合が低いという結果となりました。これは全員の前で発表することが恥ずかしかったり、発表する機会が少なかったりしたことが原因と考えます。

そこで今年度は、金屋小学校の授業で目指す子どもの姿を次のように設定しました。

## 自ら考え、学び合う子どもの育成 ～対話的な活動の充実をめざして～

そして全員の前とは限らず、ペアやグループ等でも自分の考えを発表することができるよう対話的な活動を充実させることにしました。具体的な活動を紹介します。

<p>○「私は…だと思えます。わけは、…からです。」等、学年に応じた学習で使う言葉。「つまり」「たとえば」等のつなぎ言葉を使う。うなづく、身振り、手振りを使う。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>意識して使い、話し合いをする。</b></p>	<p>○言葉だけのやりとりではなく、子どもが考えたことを相手に見えるようにボードに書いて説明したり、具体物を見せて説明したりする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>子どもの考えを視覚化する。</b></p>	<p>○教員が子どもの考え（どうして？知りたい！）をよく聞き、見取る。そして考えをつなぎ、対話が活性化するように促進する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>教員の授業力を磨く。</b></p>
---	--	---

5月8日（火）に2年生国語の公開授業を行い、授業研修がスタートしました。今後も一人年間4回公開授業を行い、授業力の向上を図り、目指す子どもの育成に全教職員一丸となって取り組みます。

一人一人が進んで話すことができれば、話し合いは活性化します。授業の場面では子どもが問題をよく考え、自分の意見を「伝えたい」という思いをもって話したり、友達の意見をよく聞いたりすることです。話し合いが活性化すれば、子どもたちの理解は深まります。ゆくゆくは、子どもたちがどんな場でも自信をもって話すことができる姿を目指したいと考えています。



子どもの考えをみんなに返しています。



お互いの考えを伝え合っています。